

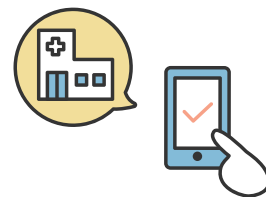
# インターネット予約をご活用ください TOPICS



現在、とうめい厚木クリニックではインターネットでの予約ができるようになっております。「小児科」の予約に加えて、予約できる種類は「がん（肺、大腸、前立腺）検診」「子宮がん検診」「婦人科検診」が新たに加わりました。

今後「オミクロン株対応コロナワクチン予防接種」も予約ができるよう準備を進めております。電話での予約時間にお電話することが難しい方は、ぜひ、24時間予約可能なインターネット予約をご活用下さい。宜しくお願い致します。

クリニック 総務課



## 脳梗塞の一般的知識と治療

脳卒中とは脳血管が詰まる、破れることにより脳血流が破綻することで起きる病気です。軽症から重篤なものまで様々ありますが、脳卒中は国内死因の第3位を占め、そのうちの60%が脳梗塞によるものです。

脳梗塞の原因は大きく分けると、心原性、アテローム血栓性、ラクナ（高血圧性）に分けられます。心原性では多くは心房細動という不整脈が原因で心腔内が鬱滞し、血栓が生じます。それが飛散して脳梗塞になります。アテローム血栓性は頭蓋内動脈、頸動脈などに狭窄が生じて、血栓閉塞、血流低下、塞栓の機序で脳梗塞を起こします。ラクナ梗塞は頭蓋内の小血管が高血圧により閉塞することで脳梗塞となります。

脳梗塞の症状は様々ですが、片側顔面上下肢の脱力・痺れ、呂律困難、言葉が出ない、眼が片側を向く、片側が見えない、ものが二重に見える、意識が悪くなるなどが代表的です。この様な症状があれば脳梗塞、脳卒中の可能性があるので、医療機関受診が必要です。

また最近では発症して間もない脳梗塞ではtPA静注療法（点滴）、血栓回収療法（カテーテル手術）にて閉塞血管を再開通させる方法もあります。現時点では

発症から24時間程度でも適応となりうる場合があります。血栓回収療法は80～90%と高い再開通率が得られるようになってきており、脳卒中ガイドラインでも推奨されています。障害を大きく改善する可能性がある治療です。症状に気付けば、迅速に救急要請または医療機関へ相談してください。

脳梗塞は生活習慣病の一種ですので、血圧・コレステロール・血糖値の管理、禁煙、大量の飲酒を避けることなども重要です。さらに夏場ですと脱水にも注意が必要です。血液の粘稠度が上がり脳梗塞を起こしやすくなります。動悸、脈の飛びを感じた場合には不整脈の可能性もあります。心房細動に伴う心原性脳梗塞では重篤な脳梗塞となる可能性が高く注意が必要です。

治療の基本は規則正しい生活を送り生活習慣の見直し、適度な運動と食事療法です。それでも改善がない場合は、薬物治療を検討する必要があります。気になる症状があれば、早期受診が一番の予防となります。予防、早期発見に努めましょう。



とうめい厚木クリニック

〒243-0034厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>



予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950